

「インターネットのプラス面、マイナス面」

論点は！
ここだ！

この課題で求められていること

- ①インターネットの利用状況（現状）を押さえる。
- ②インターネットのプラス面とマイナス面を取り上げる。
- ③今後の課題について、自分の考え、意見を主張する。

評価のポイント

この設問では、まず、インターネットが私たちの生活の中にどれだけ浸透してきているのかという現状を押さえる必要があります。「小論文まとめワーク」では「インターネット利用率の推移」「情報通信機器の世帯保有率の推移」「年齢階層別インターネット利用率」について取り上げていますが、ほかの事例を取り上げている場合は、内容が正しい知識に基づいているかを判断することが必要です。

次に、インターネットが具体的にどのような場面で用いられているのかという「活用法」を挙げ、それぞれの活用法について「プラス面、マイナス

面」を考えていくのが、この課題の最大のポイントです。同じ活用法についてプラス面とマイナス面の両方を述べることができれば、文章の展開がよりスムーズになりますが、異なる活用法について述べていても、まずは、それぞれの例をしっかりと挙げるのが大切です。

最後に、インターネットに対するこれからの課題を提案することになるのですが、ここでは「小論文まとめワーク」にある「デジタル・ディバイド」を取り上げても構いませんし、上記で挙げたマイナス面を改善するような提案が出てきても構いません。



気を付けたい答案例とアドバイス

✕ インターネットの普及や利用に関する「知識」の部分が長すぎる。

➡ ○ 「知識」は簡潔にまとめる。

「小論文まとめワーク」を参考にしたり、あるいは別のところで聞いたり調べたりして、課題に対する知識を得ると、ついそれを多く書いてしまいがちです。もちろん、インターネットがどのように広がっていて、またどのような場面で利用されているのかという説明を書くことは必要ですが、そればかりを多く書いて、この課題で求められている「プラス面」や「マイナス面」の記述が少なくなってしまうのは問題です。

✕ インターネットの「プラス面」と「マイナス面」がどちらか一方しか書かれていない、もしくは著しくバランスが悪い。

➡ ○ 「プラス面」と「マイナス面」の両方についてバランスよく書く。

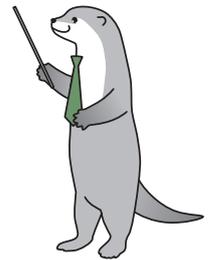
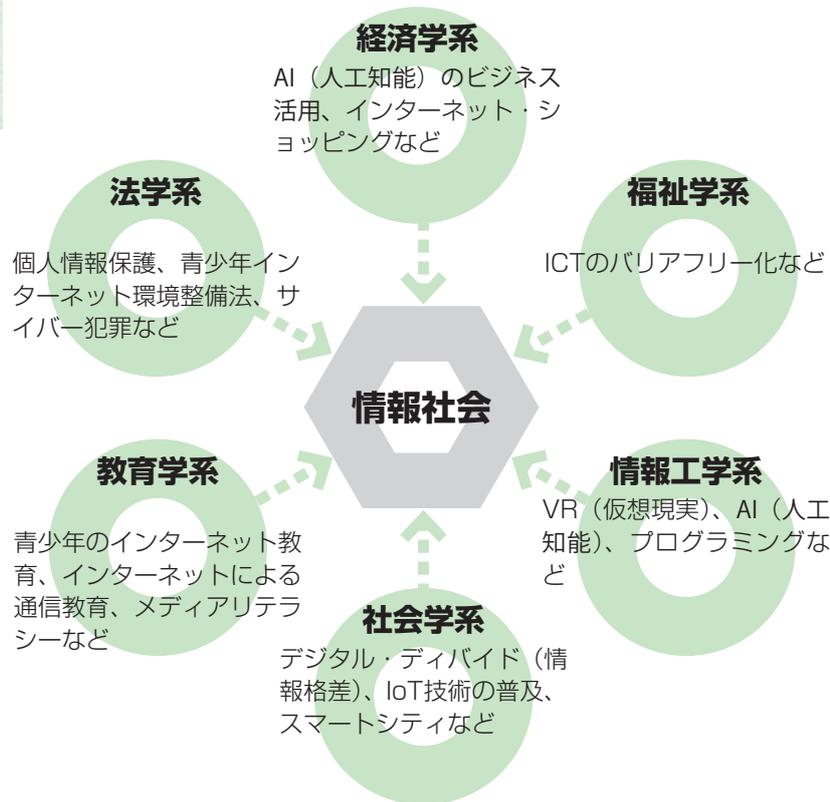
今回の課題は、インターネットの「プラス面」と「マイナス面」の両方に触れる必要があります。よい部分というのは行き過ぎると悪くなってしまうものですし、悪い部分も見方を変えるとよい部分になることがあります。すべてに当てはまるわけではありませんが、プラス面とマイナス面は表裏の関係にあるという意識を持って、両者をバランスよく書いていくようにしましょう。

✕「インターネットは怖いので使用しないほうがよい。」

➡ ○ インターネットを活用する方向で、問題点の改善策を考える。

インターネットの「マイナス面」だけを重視して、インターネットを使わないほうがよいという主張をしまうと、情報化が進む現代社会を完全に否定してしまうことになります。問題点をいかに克服するかという改善策を提案したり、マイナス面をしっかりと意識しながら慎重に使っていくという主張をしたり、あくまでもインターネットをどのように活用していくのかを述べたほうがよいでしょう。

いろいろな分野からの アプローチ



学部別出題例

【A大学（総合情報学部）】

情報技術の発達により変化した社会生活のプラス面とマイナス面について、具体的な例を挙げて600字以上800字以内で述べる。

【B大学（法文学部）】

便利なツールである一方で誤った使い方や事件が起きているSNSについて、どのように利用すべきかを書く。（1200字）

【C大学（経済学部）】

パソコンや携帯電話の利用状況や、コミュニケーションの手段に関する複数の図や文章を参考に、様々なコミュニケーション手段がどのような場面に適しているのかを述べる。（600字）

【D大学（経済学部）】

公共交通機関での携帯電話やインターネット利用に関する意識調査の結果を示す資料より、意見を述べる。（800字）